対象年度	令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	市道0115号線道路改良事業					予算事業名	市道0115号線道路改良事業費
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 経常経費
			08	02	03	2203	
根拠法令 道路法、道路構造令、結城市道の構造の技術的基準等を定める条例							
総合計画体系	住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう					事業の区分	主要事業
	快適で住みやすいまちづくり 道路ネットワークの形成					担当課係等	土木課 管理係・改良係
事業期間	継続 (令和 2年度～令和10年度)						
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】				【事業開始のきっかけや他市の状況など】			
通過車両、通学児童の安全確保が見込まれる。 また、本市の南北を結び主要地方道を補完する幹線道路の一部であり、工業団地から古河市へのアクセス向上を目指す。				本路線は、江川北小学校及び結城南中学校の通学路であるが、大型車両の通行が多く通学児童が通行する際に危険な状況で、地元から強く拡幅要望があったため。			
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】				【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】			
市道0115号線の約950m区間を幅員8mに拡幅し、整備する。				沿線住民と道路利用者			
令和7年度	路線測量委託、不動産鑑定委託、物件移転補償調査委託 道路改良工事、流末排水工事 用地買収、物件移転補償			【事業をとりまく環境の変化】 全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いでおり、必要な対策について関係機関で改善を行うようになってきている。 国も通学路の安全確保に向けた取り組みを重要事業として位置付け、推進している。			
令和8年度	路線測量委託、不動産鑑定委託、物件移転補償調査委託 道路改良工事 用地買収、物件移転補償						
令和9年度	路線測量委託 道路改良工事						
令和10年度	路線測量委託 道路改良工事						
【令和 7年度 事業内容】		【令和 8年度 事業内容】		【令和 9年度 事業内容】			
路線測量委託	1式	路線測量委託	1式	路線測量委託	1式		
不動産鑑定委託	1式	不動産鑑定委託	1式	道路改良工事	1式		
物件移転補償調査委託	1式	物件移転補償調査委託	1式				
道路改良工事	1式	道路改良工事	1式				
流末排水工事	1式	用地買収	1式				
用地買収	1式	物件移転補償	1式				
物件移転補償	1式						
■事業費							
		R05年度	R06年度				
財源内訳	国庫支出金	21,228	60,665				
	県支出金	0	0				
	地方債	15,600	44,600				
	その他	0	0				
	一般財源	3,524	21,233				
歳入計 (千円)		40,352	126,498				
歳出内訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)				
	12 委託料	18,326	1,773				
	14 工事請負費	0	112,925				
	16 公有財産購入費	1,648	2,800				
	21 補償補填及び賠償金	20,378	9,000				
歳出計 (千円) (A)		40,352	126,498				
伸び率 (%)			213.48				
備考							

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	進捗率	%	目標	46.00	45.64	58.63
	事業費ベース		実績	10.54	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	利用者の安全を考慮すると、必要性・緊急性ともに高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外には実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手法が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	法令及び技術管理に則り、設計・施工するため妥当である。人員に関しても必要最小限の人員で行っており、改善の余地はない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	目的とした対象者に対して、広く便益が提供されることから偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	用地補償交渉中であり、目に見える成果についてはどちらとも言えない。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	用地補償交渉中であり、進捗についてはどちらとも言えない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
全体の事業計画について地元にて了承を得ているが、個別の補償等については交渉中であるため早めの対応をしていく。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
国庫補助金が要望どおり交付されるよう県等関係機関に要望していく。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p>☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開</p> <p>☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容 延長950・幅員8mの道路改良事業であるが、補助事業での早期完成を目指す。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p>☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開</p> <p>☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり</p>